

### 3.8 掛障子

折れ釘などに掛けて用いる障子で、壁に掛けて使用することが多い。

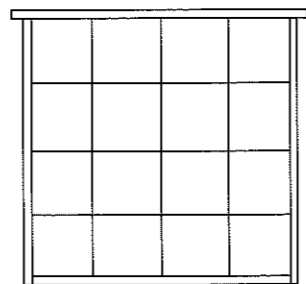


図4-9 掛障子

## 第5章 障子の張替え作業

### 1 障子の建込み

まず正しい障子の建込み方を図5-1に示す。

図のように2枚建ての場合、向かって右が前にはまり、4枚建ての場合は2番および3番の障子が前にはまり、上座のほうに出してはめる。

はじめに障子に番号を付ける。番号は上座より向かって右から障子の上框の見込面に番号を記入する(図5-2)。

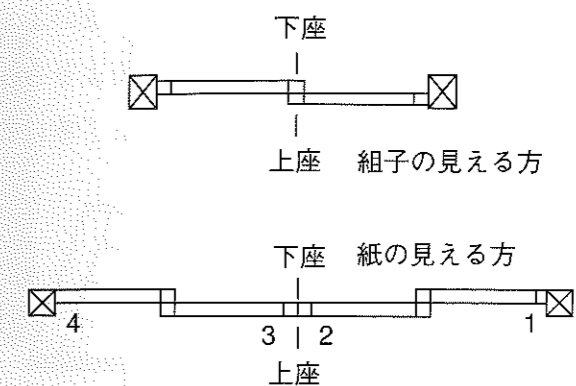


図5-1

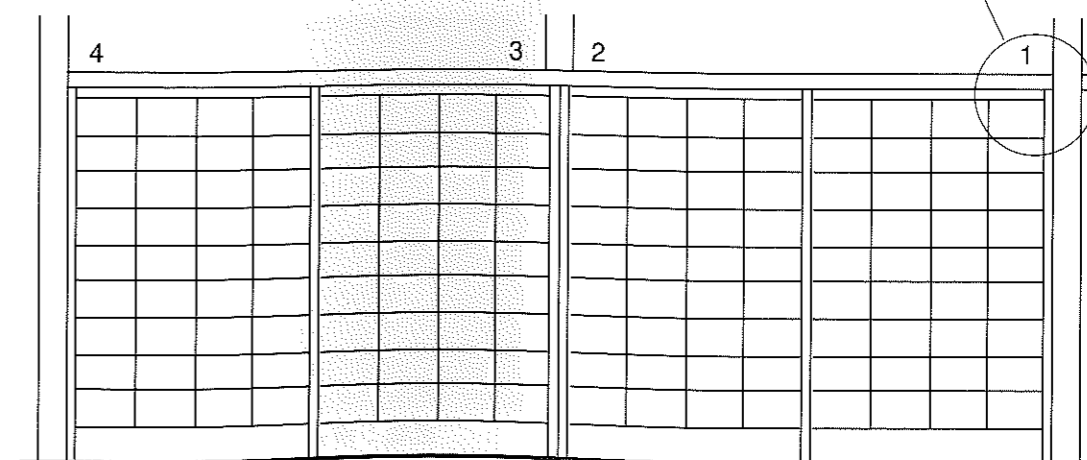
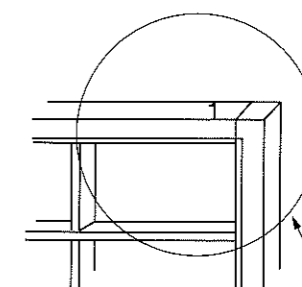


図5-2

また雪見障子や猫間障子には、小障子のはめ込まれているので小障子を外し、上框の見込面に同じ番号を記入して、紙をはがした後も表裏の分かるようにし、また溝の中にも番号を記入する。

## 2 古紙をはがす

刷毛またはきれいな雑布で骨の裏の紙のほうに湿りを入れて、5分から10分間放置する。框にはみ出た水分は、シミにならないようにふき取っておく。

紙をはがすときの手の位置は、組子面より5cmから10cmの高さにして、下方より上の方にやや斜めに引く。組子面に平行に丁寧に引きながらはがす。

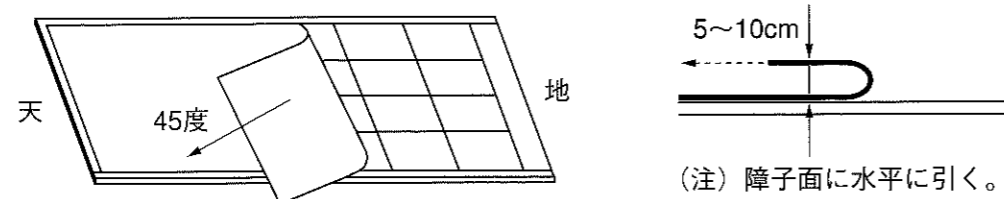


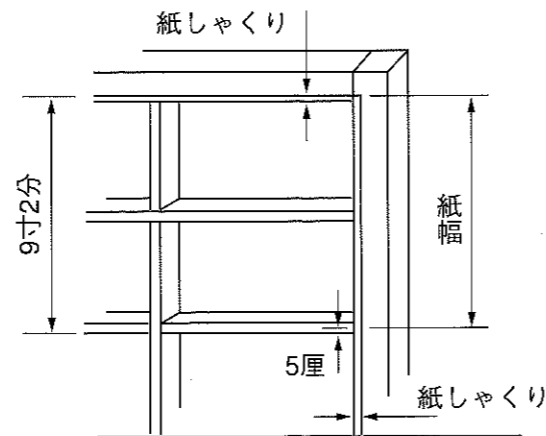
図5-3

雪見障子や猫間障子の小障子の組子は、細いので特に気をつけて、また角度を狂わせないように注意する。障子を川の中に入れたり、水をかけて障子紙をはがす人を見るが絶対にしてはいけない。十分水を含んだ障子の骨は、乾燥後に大きな狂いが生じてくるおそれがあるからである。大切なことは、障子の骨をよじれないように注意して乾燥させることである。

## 3 障子紙を張る準備

横組子の間隔を測り、無駄にならない紙を選ぶこと。

障子紙には、半紙判8寸2分5厘(約250)と美濃判9寸2分5厘(約280)とがある。今仮に図5-4の骨に紙を張る部分を9寸2分(約278.5)とすると紙の幅を9寸1分5厘(約277)に切断しなければなら



紙しゃくり：2分5厘～3分  
紙幅：横骨3本分の間で3本目の下端から5厘短い長さ

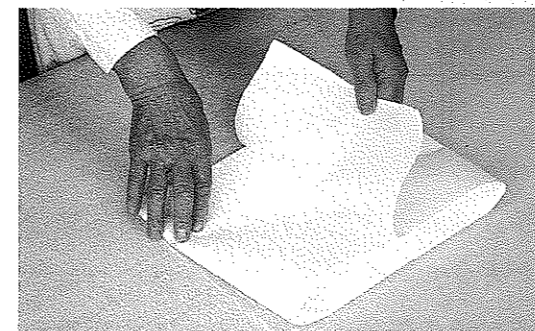
図5-4



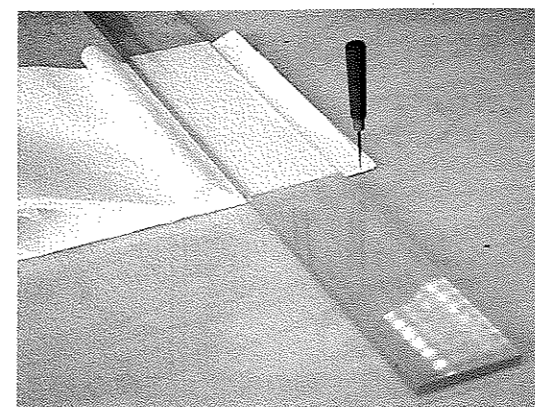
図5-5 巻紙の巻きもどし方



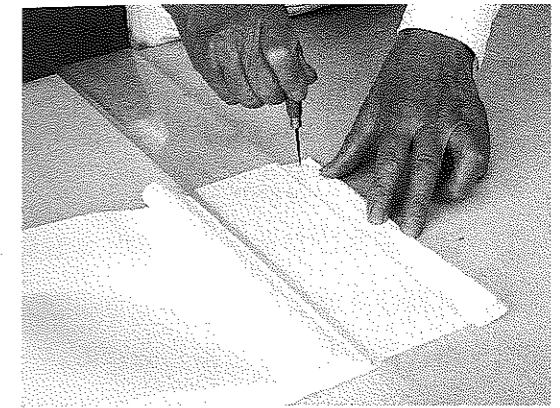
(a)



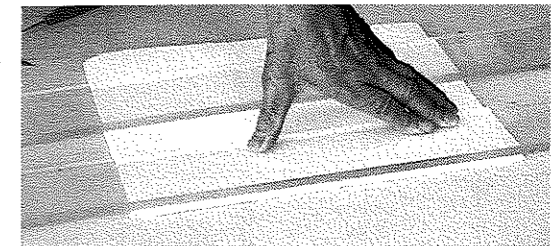
(b)



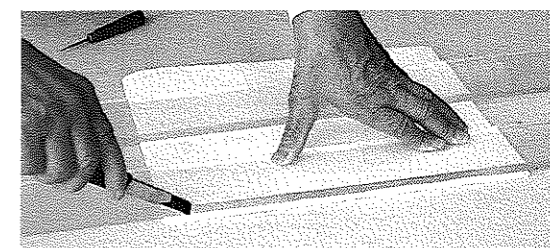
(c)



(d)



(e)



(f)



(g)

図5-6 紙の裁断の方法